

国土交通大臣 殿

新空港線早期整備着手に関する要望書

港 区	豊 島 区	川 越 市
新 宿 区	北 区	所 沢 市
品 川 区	板 橋 区	和 光 市
目 黒 区	足 立 区	
世 田 谷 区	葛 飾 区	
澁 谷 区	江 戸 川 区	
杉 並 区	大 田 区	

新空港線は、平成12年1月の運輸政策審議会答申第18号において「平成27年までに整備着手することが適当である路線」として位置付けられています。現在は交通政策審議会や関係者間で検討が行われており、今年度末には次期答申が出される予定です。

次期答申では、東京圏の都市鉄道に対して、答申第18号に挙げられている5つの課題に加えて、日本全体を牽引する東京圏の国際競争力の向上や観光立国等を実現するために、ビジネスや観光の観点、首都圏域外への広域移動の観点、またそれらのアクセス改善に資する乗換え利便の観点など、幅広い視点に基づく課題改善が求められています。

また、東京都と国土交通省は各部局間で情報を共有する連絡協議会を立ち上げ、東京の国際競争力向上、臨海部・都心部等における移動の確保・拡充、安全・安心な都市の実現、豊かな環境都市の実現や観光都市の実現等の項目について、情報共有や課題検討等の協議を重ねていくとの発表がありました。

新空港線が整備されることにより、東横線や副都心線などとの相互直通運転が可能となることから、渋谷、新宿、池袋及び埼玉県を含めた首都圏西部地域の空港アクセスの交通利便性が著しく向上するとともに、観光都市の実現にも寄与し、沿線地域の活性化に繋がります。加えて、今後発生が予想されている首都直下地震の際の極めて重要な代替路線となり得ることから、沿線のみならず東京全体の都市機能も大きく強化されるなど、課題に十分対応できる必要不可欠な路線であります。

また新空港線は、18号答申でも示されているとおり、区部周辺部環状公共交通の羽田空港へのアクセスにおいても重要な路線でもあります。

沿線自治体や関係自治体からの期待も大きく、計画、内容、及び費用面の深化も十分に図られていることから、引き続き国、東京都とも連携を強化しながら、関係者間の合意形成並びに早期整備の実現に向けて取り組んでまいります。

つきましては国土交通省におかれましては、このような主旨をお汲み取りいただきまして、交通政策審議会の次期答申において、新空港線の早期実現が図られますように格別のご高配を賜りたく、お願い申し上げます。

平成 28 年 2 月 8 日

港 区 長

武 井 雅 昭



新 宿 区 長

吉 住 健 一



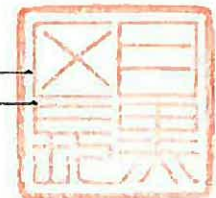
品 川 区 長

濱 野 健



目 黒 区 長

青 木 英 二



世 田 谷 区 長

保 坂 展 人



澁 谷 区 長

長谷部 健



杉 並 区 長

田 中 良



豊 島 区 長

高 野 之 夫



北 区 長

花 川

與惣太



板 橋 区 長

坂 本

健



足 立 区 長

近 藤

やよい



葛 飾 区 長

青 木

克

徳



江 戸 川 区 長

多 田

正

見



川 越 市 長

川 合

善

明

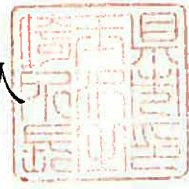


所 沢 市 長

藤 本

正

人



和 光 市 長

松 本

武

洋



大 田 区 長

松 原

忠

義

